

パラリンピックニュース

報告：特定非営利活動法人日本パラ・ パワーリフティング連盟、事務局

問合先 : ファックス 042-336-5081

電話 : 042-444-5787 久保、吉田

メール : hisako@phouse.jp

ホームページ : <http://www.phouse.jp/>

□ 2015IPC アジアオープン選手権大会

来年のリオパラリンピックに出場するには、2014年の世界選手権（4月ドバイ、UAE）、2014年のアジアパラリンピック（10月インチョン、韓国）に続き、このアジア選手権に出ておかなければならない。そこで、当連盟所属のリオ候補の8名と、新しくクラス分けを受ける選手、東京パラのために世界標準を取りたい選手の合計11名の選手が、7月24-30日、カザフスタン、アルマトイに遠征した。大会結果は次の通り。

女子45kg級	小林浩美	4位63kg	65kg級	城隆志	7位135kg（日本新）
男子49kg級	三浦浩	5位113kg	65kg級	村井都稚夫	9位109kg
男子49kg級	松本崇	9位81kg	72kg級	佐野義貴	16位130kg
男子54kg級	西崎哲男	8位123kg	80kg級	宇城元	6位173kg
男子54kg級	岡田有史	13位96kg	80kg級	斉藤伸弘	10位150kg
			88kg級	大堂秀樹	5位190kg



日本選手団勢揃い、後ろの二人は日本語通訳（写真提供；三浦浩）

□ 日本パラリンピック委員会主催新人選手発掘事業



8月9日、東京都北区障がい者総合スポーツセンターで開催された、新人発掘事業では、東京パラリンピックで活躍できる選手を発掘すべく、パワーリフティング他、各パラリンピック種目がデモンストレーションと体験会を行った。

写真左上；開会式では多くの選手、関係者が集まった。

写真右上；パワーリフティング体験会の模様

写真左；開会式で、パワーリフティングをアピールする連盟吉田理事長

この後、8月26日には、大阪会場として、長居障がい者スポーツセンターで、新人発掘事業が行われ、当連盟からも仲博幸さんを中心に体験会を行う。

□ 東京パラリンピック、パワーリフティング種目 参加を目指すには？

2017年に世界選手権が有りますので（メキシコ開催）、これまでに、世界選手権参加標準記録突破を目指してください。標準記録は、当連盟ホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

世界選手権参加標準を取るには、当連盟の競技会に出る、国際パラリンピック委員会に登録する、国際大会に参加してクラス分けを受ける。という手順があります。2020年という先のように思いますが、今年、来年の二年間で、世界参加標準を持っていない選手は、東京パラリンピックを目指すことができません。

下肢に障害をお持ちの方で、東京パラリンピックを目指したい方は、ぜひ、今から、始動なさってください。